

開校 77 周年



た か ま つ

令和 8 年 9 月 30 日

学校だより 10 月号

豊島区立高松小学校

校長 坂本 貴史

実りの秋に向けて

校長

爽秋の候、朝夕の風に心地よい涼気を感じ、確かな季節の歩みを実感する頃となりました。皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。小倉百人一首は次の歌から始まります。

「秋の田の かりほの庵の 苫をあらみ わが衣手は 露にぬれつつ」

これは天智天皇が、秋の田のほとりで夜露に濡れながら農作業に励む人々の労苦を深く思いやり、その心情に寄り添って詠んだとされる名歌です。この歌が物語るように、私たちは古来より、自然の厳しさと向き合い、勤労の汗を流す人々への深い敬意とともに、この実りの季節を大切に守り継いできました。黄金色に波打つ稲穂や、たわわに実る果実は、単なる自然の恵みではなく、人々のたゆまぬ努力が見事に結実した「豊穰の証」です。実りの秋は、子どもたちにとって、自然の偉大な営みと、食を支える他者への感謝を学ぶための生きた教科書でもあります。

本校におきましても、この実りを肌で感じる教育活動を展開しております。5年生の学習では、[山形県遊佐町](#)からゲストティーチャーとしてお招きし、学校の田んぼで稲の収穫作業を行います。お越しいただく生産者の方々の情熱や、土にまみれる尊さに直接触れることで、児童は上記の歌にも通ずる「勤労の価値」を実践的に学びます。

また、献立表を御覧の通り、日々の給食でも、新米や旬の野菜、果物をふんだんに取り入れ、豊かな味覚を通して季節の深まりを味わえるよう工夫を凝らしております。

そして、児童の確かな成長が実を結ぶ学校行事として、いよいよ運動会が近づいてまいりました。当日までの学習を通して、児童は自身の心身の成長と向き合い、学年での協力を深めています。ただ、全ての児童が思い描いた通りの結果や納得を得られるとは限りません。時には悔しい涙を流すこともあるでしょう。しかし大切なのは、目に見える結果という「果実」だけでなく、そこに至るまでに大地に伸ばした「根」や「幹」の成長、すなわち「過程」にほかなりません。目標に向かって努力し、仲間と葛藤し、幾度も乗り越えてきたこれまでの歩みこそを、私たちは大いに称えたいと考えております。どうか当日は、競技の結果のみならず、児童のこれまでの努力の道のりに温かい眼差しを向け、惜しめない拍手と励ましのお声掛けをお願いいたします。

先週の学校参観週間には、御多用の中、多くの皆様に御来校いただきありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、9月26日に配信しましたアンケートの御協力もよろしくお願いいたします。

【10月の公開授業予定】 10/13 追記

◇10月17日(土) 運動会(AM) 延期日 10月20日(火) 以降順延

◇10月23日(金) デフリンピック アスリートとの交流(4年 総合) 1・2校時

講師: デフサッカー元日本代表 塩田 知宏様

◇10月27日(火) 防災体験学習 3・4校時

講師: 区防災課 簡易トイレ・マンホールトイレ・段ボールベッド体験など

◇10月28日(水) 校内研究授業(6年3組 国語) 5校時

◇11月 9日(月) 校内研究授業(2年3組 国語) 5校時

※公開は、該当の学級の保護者だけではなく、全学級の保護者及び地域の皆様を対象としています。

※保護者の方は、学年カラーの保護者証を御持参くださいますようお願いいたします。地域や保護者証をお持ちでない方は、受付をされてから会場へお越しください。